



# 富山県SDGs宣言実施状況報告書



2023年4月30日

企業・団体名 株式会社ミズノマシナリー

代表者名 代表取締役 水野 文政

富山県SDGs宣言において宣言した取組みの実施状況について、下記の通り報告します。

## 記

1 取組み期間 令和4年4月1日～令和5年3月31日

## 2 取組みの実施状況

No.	SDGsの達成に向けた目標と取組の実施状況
1	<p><b>【目標】</b> 環境に配慮したものづくりを行う。</p> <p><b>【実施状況】</b> ・新たな取組みとして、2022年8月に電気と非化石証書の組み合わせによる再生可能エネルギーを導入し、電気のCO<sub>2</sub>削減を開始した。 ・これまでの主な取組みも引き続き継続した。</p>
2	<p><b>【目標】</b> 社員が長く働きやすい環境づくりに努める。</p> <p><b>【実施状況】</b> ・2022年11月にストレスチェック及び職場環境改善アンケートを実施し、結果に基づき「職場環境改善計画」を作成した。計画に基づき、納期の集中や個人への仕事の偏りを防ぐため、負荷と余力を日々対比し調整できるような生産計画の作成に向けて取り組んだ。また、別工場との連携を強化するため、工場間の電話を内線化した。 ・2023年3月には女性社員4名が資格給昇格、2名が最終検査員の資格力量認定の推薦を受けた。 ・2022年4月以降、2名の社員が産休・育休を取得した。</p>
3	<p><b>【目標】</b> 社員が人としても技術者・管理者としても成長できる機会を提供する。</p> <p><b>【実施状況】</b> ・2022年4月以降、新たに4名が機械加工技能検定、7名が機械検査技能検定、2名がQC検定、4名がeco検定(社会法令検定)に合格した。また、計671件の「改善実施報告書」が提出された。 ・2022年9月及び2023年3月にそれぞれ上半期・下半期の個人目標を社員全員が設定し取り組んだ。 ・2023年11月に半数以上の社員がJIMTOF(日本国際工作機械見本市)を見学した。 ・2023年3月に「教育・訓練計画書」を作成し、SDGs教育も含めた今後1年の教育・訓練を明確にした。</p>

※宣言日(ウェブサイト掲載日)から3か月に満たない場合は、翌年度からの報告となります。